

平成 23 年度 第 3 回江田島市公共交通協議会 (H24.1.13)

| 協 議 会 議 事 録 | | | | |
|-------------|--|------------------|--------------------|-----------------------------|
| 会議名 | 平成 23 年度 第 3 回江田島市公共交通協議会 | | | |
| 日 時 | 平成 24 年 1 月 13 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 15 | | | |
| 場 所 | 江田島市大柿分庁舎 4 階 401 会議室 | | | |
| 出席者 | 県立広島大学 | 名誉教授 | のほら けんいち 野原 建一 | ○ |
| | 広島商船高等専門学校 | 教 授 | おかやま まさと 岡山 正人 | ○ |
| | 江田島バス株式会社 | 代表取締役社長 | はすだ つとむ 蓮田 勉 | ○ |
| | 江田島バス株式会社 | 従業員代表 | しらいし ひろし 白石 公士 | ○ |
| | 広島県旅客船協会 | 会 長 | にった いちろう 仁田 一郎 | ○ |
| | 瀬戸内シーライン株式会社 | 船員代表 | たにぐち みのる 谷口 実 | ○ |
| | 広島県タクシー協会 江能支部 | 支部長 | いまみや こうじ 今宮 浩二 | ○ |
| | 江田島市自治会連合会 | 会 長 | おがた けんそう 小方 憲三 | ○ |
| | 江田島市老人クラブ 連合会 | 会 長 | いのこ よしお 猪子 嘉生 | ○ |
| | 江田島市社会福祉協 議会 | 会 長 | おおつ かつひこ 大津 克彦 | ○ |
| | 江田島市女性会連合 会 | 会 長 | おかだ れいこ 岡田 鈴子 | ○ |
| | 江田島市観光協会 | 会 長 | なかしま まさる 中島 勝 | ○ |
| | 中国運輸局海事振興 部旅客課 | 課 長 | おおしま はるゆき 大島 治之 | ○ |
| | 中国運輸局広島運輸 支局 | 首席運輸企画専 門官 | やざわ しょうじ 八澤 昭二 | 代理出席 おおぼやし まさあき 大林 正明 |
| | 広島県地域政策局 過疎・地域振興課 | 課 長 | ますだ しげのぶ 増田 茂伸 | 代理出席 だて あきふみ 伊達 晃史 |
| | 江田島警察署 | 地域交通課長 | しげむね ひろあき 重宗 博明 | ○ |
| | 市議会産業建設常任 委員会 | 委員長 | やまき のぶかつ 山木 信勝 | ○ |
| | 市議会交通問題調査 特別委員会 | 委員長 | とち やすのり 登地 靖徳 | ○ |
| | 江田島市 | 副市長 | しょうい よしあき 正井 嘉明 | ○ |
| | 江田島市 | 総務部長 | とて さんせい 土手 三生 | ○ |
| 江田島市 | 土木建築部長 | いしい かずお 石井 和夫 | ○ | |

| | |
|-----------------|--|
| 1 開 会 | |
| 事 務 局 | 開会宣言 |
| 2 会長あいさつ | |
| 会 長 | あいさつ |
| 3 議長の選任について | |
| 事 務 局 | 野原委員を議長に選任 |
| 4 協 議 | |
| (1) 陸上交通の再編について | |
| 事 務 局 | <p>－資料 1-1, 1-2, 1-3 により説明－</p> <p>本日の協議事項としては、バスダイヤ変更、スクールバス変更、おれんじ号での代替運行について協議してもらいたい。おれんじ号の詳細なところはもう少し詰めさせてもらう。</p> |
| 議 長 | <p>我々の身近な生活に関わることであり、忌憚のない意見を賜りたい。</p> <p>要望の中では、毎日運行しても良いのではないかという意見があったが、現在検討中とのことである。</p> |
| 委 員 | <p>決定する頃になって申し上げるのも変なのかもしれないが、我々も分科会にどうして入れてもらえなかったのか。細かい話は自治会だけで代表されているのかもしれないが、老人会や女性会も分科会に入っておいたほうが良かったのではなかろうか。</p> |
| 委 員 | <p>利用者側としてこの場に出ているのだから、委員が言われたように、ここで発言してももう駄目、分科会で決まったようなものがここへ上がってくるのだから、そういう発言できる場に出席させてもらえたらと思った。先程の委員の意見に同感。</p> |
| 事 務 局 | <p>今回は陸上分科会と自治会分科会を合同でやらせてもらった。素案を作るときはバス事業者とおれんじ号事業者だけの陸上分科会を何回か開催したのだが、それが完成したので自治会と合同でということで、自治会からも要望があり開催した趣旨がある。</p> <p>今回の発言にあるように老人会や女性会に声かけができなかったのも、もし今後こういう例があれば声をかけるようにしたい。</p> |
| 議 長 | <p>ぜひ声をかけていただきたい。島の住民の方々の意向は全て行き渡るような形でお願いしたい。できるだけ多くの方々の意見を集約していきたいということであった。他に何かないか。</p> |
| 委 員 | <p>今の関連したことで、前回の分科会でいろんな要望が出ているのだが、どの程度 4 月から取り入れるのか、その点は十分配慮して出発していただきたい。事業者と市当局で十分に協議して 4 月から出発してほしい。</p> |

| | |
|-------|---|
| 議 長 | できるだけ多くの方の意向を汲んだ形でシステムを構築してもらいたいということであり、事務局で十分考慮し、毎日運行についても検討中ということであったので、それらの点も踏まえて検討を加えてほしい。 |
| 委 員 | 今回の陸上交通の再編案というのは、いわゆる社会実験として行うのか、あるいは協議会が始まってからの最終目的と言うか、永続可能な島の交通体系を作るという最終案としての位置づけなのか。 |
| 事 務 局 | これまで実証運行という形で、実験的な要素で行ってきたが、今回のおれんじ号やバスの件についても、一応大きく見直しをしたと思っており、これがゴールではなくてもう少し更に様子を見ながら、と考えている。これが決まりではなくて、一応半年間という思いがあり、その中で見直しをかけていきたいと考えている。 |
| 議 長 | 向こう 6 ヶ月間の状況により判断をするという答えであった。この決定が必ずしも固まったものではない。他にはないか。 ともかく利用者の利便性を考慮した再編でなければならないので、少なくとも陸上交通を利用する方々の便宜性を高めるものであるという理解をぜひ持ってもらいたい。 |
| 委 員 | 先程半年ということであったが、実際にやってみるとたぶんいろんな問題や要求が出てくるのではないかと思うので、ちょうど半年くらいというのは非常に良いかなと思う。 利用者の不満や要望などをどうやって受けていくのかという「受け皿」のようなものを、今ここですぐという事ではないが、ある程度検討しておいて、半年後こういうところを直していきたいということになれば、それは非常に良いのではないかと思う。そういったことを検討してもらいたいというのがまず一つ。 もう一つは、実際には検討しているのだろうが、不確定な部分はあるものの、経費そのものがこれでどれくらい削減できるのかということも、試算でいいのでしてもらい、そういうこととを比べながらサービス水準を検討することが必要だと思う。特に資料に謳ってあるように「利便性の向上と将来的な市の負担を抑え」ということであり、実際に負担が抑えられていないのであれば効果があまり大きくないということでもあろうから、その辺をちゃんと見ながらやるべきだし、オープンにしていかなければならない。そうでないと、せっかく苦労したのに経費はあまり変わってなくて、サービス水準だけ落ちた、手間だけかかったというのでは勿体無い。どう検証していくかということも含めて考えてもらいたい。 |
| 事 務 局 | 経費の部分についてはまだ不確定な部分があり出ていない。今回の分科会等でいただいた意見、これを全て叶えるような、実現するような形にすると、やはり費用は従前よりもかかってしまうことが予想さ |

| | |
|--|---|
| | <p>れる。これがゴールではなくてまずやってみてという試行的な形をとらせてもらい、その部分で費用が嵩むのはやむを得ないと考えている。</p> |
| 委員 | <p>ぜひ経費をオープンにしてもらいたい。難しい部分もあるとは思いますが。これだけ市に負担がかかっているということを明確に出すべき。結構面倒くさい手間だけかけてデマンド系のものを使っているにも関わらず経費が増えていくのであれば、「じゃあ元通りにしてくれ」という意見も出るだろう。検証する際に、そういった部分はきちんと検証されるべきである。</p> |
| 議長 | <p>利用者のニーズをどのように把握するのかというのは、なかなか難しいところではあるのだが、事務局で何か考えていることがあるか。</p> |
| 事務局 | <p>実際に利用される方からの声を聞くというのは当然なのだが、まず周知からスタートして、その中で集約するやり方も含めてやりたい。</p> |
| 議長 | <p>できるだけ利用者の声も聞きながら、という回答であった。 陸上交通再編の効果がどの程度あるのかというところを、利用者側からの効果、それから実践した際に事業者側から、あるいは市側からの利便性・利益が伴うのかどうかという検証が必要になってくる。 いずれにしてもこれは固まってきたものではなく、時間をかけてその経過を見ながら、陸上交通再編の効果が出てきたのかを見定めながら、続けていくかどうかを検討したいということであり、このような形で再編することを承認していただけるということによろしいか。</p> |
| | <p>(異議なし)</p> |
| <p>(2) 大須～宇品 (フェリー) 航路の廃止に伴う代替交通手段について</p> | |
| 事務局 | <p>－資料 2 により説明－</p> |
| 議長 | <p>これは海上と陸上との結びつきということで、その点での検討ということになるかと思う。大須～宇品航路廃止に伴う代替手段ということで、意見を賜りたい。 利用者からの要望ということでは、事務局からの説明にあったとおり、おれんじ号をもう少し運行できないかとか、9人乗りをもう少し増やせないかという検討事項を掲げられている。市としては第 3 案「おれんじ号増便」で要望を叶えられると考えている。</p> |
| 事務局 | <p>補足で説明すると、おれんじ号ではなく大きい車両でという部分で、一つはバス会社に借りるケース、もう一つはレンタカーで走らせるケースを検討している。方向としてはこのおれんじ号ではあるのだが、更に実験的な要素で、もっと短期でできないかということで、地元対策として考えている。</p> |
| 議長 | <p>これは特に利用者の状況等を踏まえながら、ということになる。柔軟に事業者と相談しながら、大きいバスの活用も検討中ということである。</p> |

| | |
|--------------------------------|--|
| 委員 | その方向で良いのではないか。 |
| 議長 | とりあえずこの案で進めていくことで良いのではないかという意見が出た。その他に何かないか。 |
| 委員 | バス会社から借りるであるとか、レンタカーを使用するであるといった検討をしているということだが、事業用の車として使うことになるので、バス会社から借りるとしても、おれんじ号を運行する事業者の名義に、運行する間については変更する必要がある。また、仮にレンタカー会社から借りることになっても、リースのような形で名義を運行事業者にしておく必要があるのでは、その点を留意してもらいたい。 |
| 事務局 | 不明な点は（運輸支局等に）よく協議させてもらい、検討させてもらいたい。 |
| 委員 | 地元ではないので詳しいことはわからないが、大きいバスを要望すると地元の方が言われているようだが、実績が果たしてそれだけの人数に満たないのに大きなバスを走らせても全く意味が無いし、事業者もメリットが無い。しっかり様子を見ながら実績を把握して、より良い方向で事業者と地元の方と擦り合わせながらやってもらいたい。 |
| 議長 | 更に利用状況等を踏まえながら、市の負担にならないような形で十分検討してもらいたい。意見が他になければ、承認いただいたということで、次に進めさせてもらう。 |
| 5 その他 | |
| ・ 地域公共交通活性化・再生総合事業に関する事後評価について | |
| 事務局 | －資料 3 により説明－ |
| 議長 | 何か質問、確認したいことなどがあるか。 |
| | (質問等なし) |
| ・ その他 | |
| 議長 | その他で何か事務局から連絡事項などはあるか。 |
| 事務局 | 次回の協議会については、1ヶ月後程度にはなろうかと思うが、また案内させてもらう。デマンドの調整が済み次第ということになる。 |
| 委員 | 次回開催されるときには、船の方も実証実験をやっているが、なかなか苦しんでいるという状況があるみたいなので、途中経過というか分析というようなものも是非していただきたい。 一つ心配しているのは、国の予算がこの協議会に対して下りなくなる、来年度から予算がつかないということを漏れ聞いている。陸上交通の方はあるのだけれども、船の方に対してはもうお金が下りないということも聞いているので、その辺りの実証実験の進め方などについて変更点あるいは考え直す点などがあれば提案いただきたい。 |

| | |
|------------|--|
| <p>事務局</p> | <p>航路について、昨年度実験を行った分の最終的な数値についてはまだ手元に集めていないので、関係事業者から資料を収集した上で、できれば今まで議論していただいたような出し方で「結果こうなりました」というものを見ていただく機会は設けたい。</p> <p>国の総合事業について、お金を使い始めて 2 年目だが、来年度以降予算措置が無くなるというのは事実である。バスに関してはフィーダーに関しての補助等は若干あるが、それ以外の財源確保に関して、国の他のメニューを探していきたい。</p> <p>今後のこの協議会に関して、法定協議会の法律自体は残すという話なので、協議会自体は残していきたい。引き続き議論させてもらいたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>確か 6 月のこの協議会において、先程委員が言われたような「全般的な意見交換をする場を」ということを議長が改めて言われた。事務局は事後評価の段階になって気が焦るのはわかるのだが、本当の意味で会長から「持続可能な」という言葉も出たし、委員から船はどうなったのかという意見も出たし、そこまでしっかり突っ込んだ意見交換まではできなかった気がする。</p> <p>デマンドを走らせたなら詳しい資料も出てきたし、いろいろあったのだが、それに比べたら今日は議事進行がスムーズで、1 時間ちょっとしか経っていない。しっかりやる気になれば意見交換できなくもないのだが、この時期にきているので、分科会でも良いのもう一度考えてもらいたい。</p> |
| <p>議長</p> | <p>今日は陸上交通に関しては分科会の報告があったが、海上交通に関しては十分審議されているとは思えない。ただ事務局の方では検討事項として今後も検討していくということだが、事務局の方で何か特にそういったことについては検討するという考えはあるか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>この協議会で協議させてもらうのは、元々の連携計画についてであり、その連携計画の中に全体的な航路のことや陸上交通のことについて話し合いを継続していくという表現も含めた部分において、全体的な話し合いができていないことは指摘されるとおりである。</p> <p>海上分科会で議論になればと思っていたのが、県の新たな補助制度の話があり、その議論をするタイミングで……と考えていたところ、予定がずれ込んでいる。来週月曜日に県から説明があるということで、そのことについては分科会で話していきたい。</p> |
| <p>議長</p> | <p>海上交通の部分では十分に考えられていないという指摘があったが、いずれにしてもこの交通協議会では引き続き審議事項として継続していきたいということなので、確かに全体会議で十分議論し尽くしているとは言い難い部分があるが、その点はご了承願いたい。</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>委 員</p> | <p>この場を借りてお願いしたい。新聞報道等でご存知の方もいるだろうが、年末に県内の乗合タクシーによる転落事故が発生したという事案があった。日頃から安全運行については注意してもらっているとは思いますが、デマンドによる運行は特に狭い道を走るケースも多くなると思うので、引き続き安全運行に注意をしていただきたい。</p> |
| <p>議 長</p> | <p>私が漏れ聞いたところによると、安芸高田市において、雪道での走行中に脱輪があったと聞いている。そういう意味では、運行に十分注意をしてもらいたい。</p> <p>先程申し上げたような形で、次回できれば十分全体の審議をしていくということで、更に不足する面があれば指摘をもらい、その分時間をとって議論すべきところは議論していくということを、これからも考えていきたい。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>この法定協議会は引き続き、総合連携プランを立てているので、これに従って課題解決を一つずつ図っていきたい。更に実証実験も多くある。一つ一つ検証しながら前へ進めていくという作業になるので、手間取る部分も多々あると思うが、その都度報告をしながら意見を聞きたいと思う。</p> <p>海上分科会も、近々また生活航路対策について県から説明があるということなので、この点も踏まえながら総合的に進めていくので、今後ともよろしくお願いしたい。</p> |
| <p>6 閉 会</p> | |